

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学基盤演習Ⅳ			必修	2	2	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
鈴木 真吾 他		B309	shsuzuki		水曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要		<p>&lt;目的&gt;社会福祉学や心理学の基盤であるコミュニケーションの基本に基づき、立場に応じた対人スキルの学習を通して、個人と社会とのかわりや社会の一員としてのあり方・役割について考えを深める。                      &lt;概要&gt;社会的存在としての人を意識した、コミュニケーションスキルの講義と演習を行う。それと同時に福祉心理学基盤演習Ⅲで学んだ社会の一員としてのあり方・役割に基づき、各自のキャリアデザインを明確なものとするため、現時点でのキャリアイメージについて考察を促す。</p>				
授業形式・方法		<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 (                      )	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク	<input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク
学習上の助言		課題やグループワークが多い体験型授業であるため、積極的な受講態度を求める。				
教科書		教科書は指定しない。必要に応じて資料を配布する。				
参考書		随時紹介する。				
外部教材		特になし。				
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	自己・社会の理解に係る見識を多様な視点で調べることができる。				HC(3)	
②	自己と社会との多様な関わりについて理解し、考察できる。				HC(1)、(2)	
③	適切なプレゼンテーションを行うことができる。				HC(4)、(6)	
④	専門的な学びがキャリアデザインに如何に活かせるかを省察し、適切に言語化できる。				HC(4)、(6)	
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーション：演習による自己成長の目的を理解する。	講義・演習・GW	シラバス・配付資料を熟読し、発表に向けた準備を行う。		3	
2	ライフデザインと社会実装 (プレ)：	講義・演習・GW	必要な調査を行い、情報を整理・統合して発表準備を行う。		3	
3	前期に取りまとめたライフデザインについて、願望と適性の観点から社会的に実現可能であるか検討する。	講義・演習・GW	必要な調査を行い、情報を整理・統合して発表準備を行う。		3	
4	以上を整理・統合して、2点のライフデザインを発表できる準備をする。	講義・演習・GW	必要な調査を行い、情報を整理・統合して発表準備を行う。		3	
5		講義・演習・GW	必要な調査を行い、情報を整理・統合して発表準備を行う。		4	
6	ライフデザインと可能性 (中間発表会) ①	プレゼンテーション	評価を受けて発表を振り返る。		4	
7	ライフデザインと可能性 (中間発表会) ②	プレゼンテーション	評価を受けて発表を振り返る。		4	
8	ライフデザインと社会実装 (リベンジ)：	講義・演習・GW	必要な調査を行い、情報を整理・統合して発表準備を行う。		4	
9	中間発表会で提示したライフデザインについて、評価を受けて、改めて願望と適性の観点から社会的に実現可能であるか検討し直す。	講義・演習・GW	必要な調査を行い、情報を整理・統合して発表準備を行う。		4	
10	以上を整理・統合して、2点のライフデザインを発表できる準備をする。	講義・演習・GW	必要な調査を行い、情報を整理・統合して発表準備を行う。		4	
11		講義・演習・GW	必要な調査を行い、情報を整理・統合して発表準備を行う。		4	
12	ライフデザインと可能性 (最終発表会) ①	プレゼンテーション	評価を受けて発表を振り返る。		5	
13	ライフデザインと可能性 (最終発表会) ②	プレゼンテーション	評価を受けて発表を振り返る。		5	
14	ライフデザインと可能性 (取りまとめ) ①	講義・演習・GW	発表会を受けて、自身のライフデザインをまとめる。		5	
15	ライフデザインと可能性 (取りまとめ) ②	講義・演習・GW	発表会を受けて、自身のライフデザインをまとめる。		5	
試						

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	10	40	0	50	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	5	0	5	10
	思考・推論・創造する力	0	5	5	0	5	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	15	20
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	10	0	5	15
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	5	5	0	0	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
レポート	①	✓	取りまとめのレポート課題を作成する。10 点の配点とする。演習内の取り組みを真摯に振り返り、よく整理・統合された構成であるか否かを評価する。3 年次を意識した進路選択が記載されていることを最低要件とする。			コメントを付して返却する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	発表の内容・構成及び聞き手を意識した伝え方等のプレゼンテーション、質疑応答時の対応等を評価する。また、他者評価も行い、配点に含める。中間発表会 20 点、最終発表会 20 点とする。			講義中に総評を行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	演習への取り組み（練習、グループワーク等）を総合的に判断する。			講義中に総評を行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	瀧口 綾						
教員の実務経験	鈴木 真吾：臨床心理士また公認心理師として 21 年の臨床経験を有する。 瀧口 綾：臨床心理士また公認心理師として 24 年の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	心理実践の英知を活かして、キャリアデザイン構築につながる自己分析を指導する。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本演習で単位取得できない場合、原則、3 年次に進級はできない。学科の基幹教育としての演習であるため、特段の事情がない限り、全出席すること。</li> <li>● 生成 AI（ChatGPT 等）を単純に転載した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。</li> <li>● 全 15 回が対面授業（面接授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。</li> <li>● 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われ得る。</li> </ul>						